

【邦人被害】銀行カード情報スキミング（窃取）による不正引き出し事案の発生

【ポイント】

在留邦人が保有する銀行口座から、アルゼンチンペソを不正に引き出された事案が発生したことから、当該事案の概要について以下のとおりお知らせします。在留邦人の皆様方におかれましては、同様の被害に遭われない様にご注意願います。

【本文】

1 事案の概要

（１）日時

２０２１年１０月１８日午前

（２）被害内容

銀行口座内のアルゼンチンペソ

（３）事案の状況

ア 被害者が、普段から利用している銀行ＡＴＭから現金を引き出そうとし、うまく引き出しができなかったため、後日インターネット・バンキングで利用履歴を確認したところ、身に覚えのない額のアルゼンチンペソが他行のＡＴＭから引き出されていたことが判明した（この取引を不正引き出しと判断した銀行は、カード利用をブロック）。

イ 警察によると、被害者が普段利用する銀行ＡＴＭは、ブエノスアイレス市パレルモ地区等に複数あり、このうちのいずれかでカード情報と暗証番号を合わせてスキミング（窃取）された可能性が高いとのこと。

2 防犯対策

（１）ＡＴＭのカード投入口や暗証番号入力キーボード周辺等に、カード情報等をスキミング（窃取）するための機器等が取り付けられていないか、入念に確認する。

（２）ＡＴＭが複数台設置されている場合は、他のＡＴＭとよく見比べて、不審な箇所がないか確認する。

（３）暗証番号入力時には、手元を覗かれたり、撮影されないように、もう一方の手で覆い隠す。

（４）暗証番号を定期的に変更する。

（５）オンライン・バンキング等で使用履歴を頻繁に確認して、身に覚えのない取引を速やかに把握する。

（６）スキミング機器を取り付けたＡＴＭの一例（参考）

●セブン銀行ホームページ（日本語）

<https://www.sevenbank.co.jp/support/info2013022801.html>

●米国連邦捜査局ホームページ（英語）

<https://www.fbi.gov/scams-and-safety/common-scams-and-crimes/skimming>

3 外務省海外安全ホームページのご案内

外務省海外安全ホームページ（リンク下）では、アルゼンチン特有の犯罪様態に対応した防犯対策情報など掲載しておりますので、是非ともご確認ください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_241.html#ad-image-0

また、邦人が被害に遭ったとの情報に接した場合は、大使館にご一報ください。

【問い合わせ先】

在アルゼンチン大使館領事班

電話：011-4318-8220

メール：conbsas@bn.mofa.go.jp

※ このメールは、在留届にて届けられたメールアドレス及び「たびレジ」に登録されたメールアドレスに自動的に配信されております。

「たびレジ」簡易登録された方でメールの配信を停止したい方は、以下のURLから停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>（了）